

*IBM AdTarget* の資料

**IBM**

# 目次

<b>IBM AdTarget の資料</b> .....	<b>1</b>
<b>AdTarget の概要</b> .....	<b>1</b>
消費者プライバシーおよびオプトアウト.....	1
AdTarget の主な機能.....	2
ソリューションに関するその他の資料.....	3
システム要件.....	3
アプリケーションの使用における要件.....	3
アプリケーション・プロビジョニング.....	4
ユーザー管理.....	4
アプリケーションへのアクセス.....	4
<b>AdTarget</b> .....	<b>5</b>
アプリケーションの概要.....	5
「レポート」メニュー.....	5
キャンペーン・パフォーマンス・レポート.....	6
キャンペーン・ズーム・レポート.....	6
「統合」メニュー.....	7
トランザクション・イベント・シンジケーション.....	8
オーディエンス・セグメント・シンジケーション.....	9
Eメール通知.....	13
パートナー状況.....	13
「管理」メニュー.....	13
パートナー・シンジケーション.....	13
セグメント.....	13
注釈.....	13
<b>AdTarget ネットワーク・パートナー</b> .....	<b>14</b>
将来の AdTarget パートナー.....	14
パートナーの認定.....	14
<b>プロダクション・データ・シンジケーションのセットアップ</b> .....	<b>15</b>
<b>IBM Digital Analytics アプリケーションの再ターゲット化</b> .....	<b>19</b>
<b>AdTarget のよくある質問</b> .....	<b>24</b>
<b>その他の連絡先情報</b> .....	<b>26</b>
<b>サポート</b> .....	<b>28</b>
商標.....	30
製品資料に関するご使用条件.....	30
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項.....	31

# IBM AdTarget の資料

---

IBM® AdTarget の資料へようこそ。この資料では、IBM AdTarget の管理と使用の方法について記載します。

## はじめに

### 製品の概要

AdTarget は、表示広告キャンペーンを個別設定および最適化するために使用できる、データ・シンジケーション・プラットフォームおよびオンライン・マーケティング・アプリケーションです。

### システム要件

IBM Digital Analytics 製品を実行するには、特定バージョンのソフトウェアおよびブラウザを実行し、必要最低限のメモリー容量を確保している必要があります。

### 主な機能

AdTarget は、インテリジェント・データ・シンジケーション、迅速な実装および統合、強力なセグメンテーション、および適用範囲の拡張を使用します。これらの機能を使用することで、オーディエンスや訪問者に関連性の高いキャンペーンを策定して管理できます。

## 一般的なタスク

### 「レポート」メニューの使用

AdTarget は、表示広告マーケティング・マネージャーが各種キャンペーンのパフォーマンスを素早く確認することを可能にする、ネイティブ・レポート作成機能を提供します。

### 「統合」メニューの使用

AdTarget の「統合」メニューは、さまざまな AdTarget ネットワーク・パートナーとのデータ・シンジケーションを構成するコンソールです。

### メニューの管理

AdTarget の「管理」メニューを使用することで、パートナー・データ・シンジケーションをモニターできるので、AdTarget オーディエンス・セグメントを管理したり、AdTarget ネイティブ・レポート内で作成したあらゆる注釈を管理したりできます。

## ベスト・プラクティス

### よくある質問

このトピックでは、AdTarget に関するよくある質問と答えを記載します。

# AdTarget の概要

---

AdTarget は、表示広告キャンペーンを個別設定および最適化するために使用できる、データ・シンジケーション・プラットフォームおよびオンライン・マーケティング・アプリケーションです。

AdTarget では、Digital Analytics によって取得された広範囲の訪問者プロフィールと細分化された訪問者アクティビティを使用して、表示広告の関連性をさらに高め、より多くの訪問者を再獲得します。

## 消費者プライバシーおよびオプトアウト

---

Digital Analytics は、お客様の組織から訪問者情報を収集または受信しますが、収集された情報は所有しません。お客様の代わりに収集または受信するデータの種類の、お客様の会社が指定します。

収集されるデータには、検索エンジンからの参照、アフィリエイトからの参照、バナー広告またはその他のプロモーションによって誘導されたトラフィック、サイトの訪問者によるナビゲーション、人気のあるページ、ショッピングカートへ追加あるいはカートから削除されたアイテム、コンバージョン、購入された内容などが含まれますが、これらには限定されません。それぞれのお客様との契約において、そのお客様にサービスを提供するために必要な場合を除き、Digital Analytics はお客様の代わりに収集または受信するいかなるデータも使用しないことが明記されています。Web サイトへの訪問者に関するすべての個人情報、Digital Analytics ではなくお客様に帰属します。Digital Analytics が特定のお客様のために収集した個人情報には、Digital Analytics の他のお客様はアクセスできません。

以上の目的のため、AdTarget は、お客様が AdTarget インターフェースを使用して明示的に使用可能に設定し許可を与えたネットワーク・パートナーに対してのみ、訪問者アクティビティおよびセグメントの情報をシンジケートします。さらに、AdTarget は、お客様が AdTarget で明示的に設定したデータ・イベントおよびトランザクションのみを各パートナーに対してシンジケートします。お客様の組織は、ある特定の時点でどのパートナーを許可するか、およびパートナーにシンジケートされるデータの詳細な特性を常に直接管理します。お客様の組織は、サイトを訪問する顧客のための明確なプライバシー・ポリシーを確立する責任を負います。お客様の組織は、Digital Analytics の同意または監督なしでプライバシー・ポリシーをいつでも変更できます。そのため、弊社では、サイト訪問者および顧客に対するデータ収集手法および使用手法の開示に関して、お客様が必要な通達を行うものと見なします。Digital Analytics は、AdTarget によってシンジケートされた行動データの使用方法を決定せず、使用方法に責任を負うこともありません。

AdTarget を使用することで、お客様の組織がこれまで努力して築き上げた、サイト訪問者や顧客との信頼関係のレベルを保つことができます。お客様の組織が Digital Analytics で実装したオプトアウト Cookie のソリューションの種類 (例えば、お客様が委任する第一者、あるいは第三者、またはお客様が管理する第一者 JavaScript) にかかわらず、サイト訪問者がサイト上での Digital Analytics データ収集を拒否した場合、そのオプトアウトは AdTarget データ・シンジケーションにも適用されます。具体的には、あるサイト訪問者が特定の Digital Analytics トラッキングに関して匿名であり続けることを選択した場合 (つまり、訪問者が Digital Analytics オプトアウト Cookie を設定した場合)、サイト上でのその訪問者のアクティビティに関連するデータは、お客様が AdTarget を使用して使用可能に設定したパートナー組織にシンジケートされません。訪問者は、解析トラッキングをオプトアウトするための現在の方法と同様の (または同一の) 方法で、トラッキングおよびデータ・シンジケーションをオプトアウトできます。AdTarget によるセグメントおよびイベント・トランザクションのシンジケーションは、ルール・ファイル (rules.js) に基づいています。このファイルは、Digital Analytics サーバー上で設定され、顧客の参照訪問ごとにダウンロードされます。Digital Analytics サーバーが、送信されたオプトアウト Cookie を、クライアントが委任する第一者オプトアウト Cookie または第三者オプトアウト Cookie として認識した場合、サーバーは空の rules.js ファイルを送信し、AdTarget データ・シンジケーションがその訪問者に対し確実に抑制されるようにします。お客様の組織で、クライアントが管理する第一者 JavaScript の実装を使用している場合、システムは、お客様の組織のドメインの下でオプトアウト Cookie の有無を検査し、該当する Cookie を検出すると AdTarget データ・シンジケーションを抑制します。

## AdTarget の主な機能

AdTarget は、インテリジェント・データ・シンジケーション、迅速な実装および統合、強力なセグメンテーション、および適用範囲の拡張を使用します。これらの機能を使用することで、オーディエンスや訪問者に関連性の高いキャンペーンを策定して管理できます。

### インテリジェント・データ・シンジケーション:

AdTarget を IBM Digital Analytics API と結合することにより、既存の Digital Analytics タグ実装を利用して、データ・イベントおよびオーディエンス・セグメントをさまざまな AdTarget ネットワーク・パートナー組織にシンジケートできます。提携する行動ベースのターゲット絞り込み企業と、パートナーに広告キャンペーンで使用してほしい訪問者情報のタイプを常に管理できます。

### 迅速な実装および統合:

AdTarget では、Digital Analytics またはお客様のパートナーからの追加サイト・タグは必要ありません。Digital Analytics タグ・ライブラリーへの更新のみが必要です。AdTarget と Digital Analytics API ソリューションは、既存の Digital Analytics サイト・タグ付けの実装を使用します。このソリューションを使用すると、サイト・ページにさらにサード・パーティーのタグを実装するために承認を取得する必要がなくなります。

### 強力なセグメンテーション:

AdTarget は、強力なオーディエンス・セグメンテーション定義ツール・セットを提供します。細分化されたタグ・イベント・レベルのデータをパートナーにシンジケートすることもできますが、自身の表示広告のニーズやイニシアチブに特化した訪問者セグメントを定義することもできます。AdTarget と Digital Analytics API は、訪問者が Web サイトと対話しているときに、パートナーでアクティブに設定したオーディエンス・セグメント・ルールをリアルタイムで評価します。訪問者セグメントの条件が満たされると、その情報は即時にパートナーに渡され、パートナーが関連性の高い広告メッセージを訪問者に提供できるようにします。

### 適用範囲の拡張:

複数の AdTarget ネットワーク・パートナーを同時に管理することにより、AdTarget を使用して、より多くの適切にセグメント化されたオーディエンスに、関連性の高い広告を素早く表示できます。複数のパートナー組織との AdTarget を通じたデータ・シンジケーションを使用可能にした場合でも、追加料金は課金されません。

## ソリューションに関するその他の資料

このユーザー・ガイドに加え、以下の資料にも AdTarget の詳細が記載されています。

### AdTarget データ・シート

この資料は、2 ページ構成の AdTarget 価値提案の概要です。

### AdTarget リリース・ノート

AdTarget ライセンス所有者が利用できる新機能に関連する情報は、アプリケーションのメジャー・バージョン・リリースごとにリリース・ノート資料に記載されています。

### AdTarget テスト・ガイド

IBM Digital Analytics は、正常に統合を実装できるように支援する「AdTarget Library and Data Syndication Testing Guide」を提供します。

以前の資料はすべて、<http://support.coremetrics.com/> から入手できます (これらの資料およびその他の AdTarget ソリューション資料へのリンクを探すには、AdTarget を検索してください)。



**重要:** AdTarget を使用してデータ・シンジケーションを行うと、各サイト訪問者のブラウザに、承認済みのネットワーク・パートナー・コードまたは Cookie (あるいはその両方) が導入されます。そのため、シンジケーションを「**ACTIVE**」状態に移行する前に、包括的なテスト作業を実施することが非常に重要です。このタスクを容易にするために、Digital Analytics では、「**ACTIVE\_TEST**」というテスト状態を提供し、すべての AdTarget シンジケーションにこの状態を通過することを義務付けています。

パートナー・データ・シンジケーションを「**ACTIVE**」状態にプロモートできるのは、Digital Analytics のお客様のみです。そのため、クライアントは、Web サイトの機能と AdTarget パートナー・シンジケーション・コードの間で問題または競合が発生しないことを確認する最終的な責任を負います。

AdTarget テスト・ガイドには、「**ACTIVE\_TEST**」状態でのシンジケーションのテストに必要なステップの詳細が記載されています。

## システム要件

IBM Digital Analytics 製品を実行するには、特定バージョンのソフトウェアおよびブラウザを実行し、必要最低限のメモリー容量を確保している必要があります。

以下のシステム要件を維持してください。

- ソフトウェア: Adobe Flash Player V10 または V11
- ブラウザー: Microsoft Internet Explorer V9 以降、Mozilla Firefox V29 以降、Chrome V34 以降
- メモリー: 1 GB 以上 (RAM)

## アプリケーションの使用における要件

Web サイトから AdTarget ネットワーク・パートナーへの直接のデータ・シンジケーションを容易にするには、サイトの Digital Analytics タグ・ライブラリーを更新する必要があります。

Digital Analytics Implementation Services 組織は、お客様が必要な更新を実行できるように支援します。必要になるライブラリー更新には、以下のような更新が含まれています。

- 更新済み eluminate.js ファイルが提供されます。このファイルは、自身の組織のサイト上で更新する必要があります。更新には、選択した AdTarget パートナーに Digital Analytics データを送信するために必要な追加コードが含まれます。

- 選択されたパートナーに AdTarget データが送信されるクライアント ID を指定する必要があります。このデータは、cmdatatagutils.js ファイルを更新するか、各ページの Digital Analytics コードに 1 行の JavaScript コードを追加することで指定できます。新規 cmdatatagutils.js ファイルを使用する場合は、(Digital Analytics によって提供される) 更新済みファイルを稼働中のサイト上でホストする必要があります。

お客様の組織の Digital Analytics 実装に関連する特定の AdTarget タグ・ライブラリー更新要件について詳しくは、Digital Analytics アカウント担当者までお問い合わせください。

注: AdTarget のデータ・シンジケーション機能は、タグ・ライブラリーへの変更が行われ、更新されたファイルがサイト上でアクティブになるまで操作できません。

## アプリケーション・プロビジョニング

---

組織が Digital Analytics と AdTarget ライセンス契約を交わすと、Digital Analytics Provisioning Services により、ライセンス契約に記載されているクライアント ID に対して AdTarget が使用可能になります。

デフォルトでは、AdTarget アプリケーションは、管理者ユーザー・グループのメンバーであるユーザー・アカウントに対してのみ使用可能になります。その他のグループのユーザー・アカウントが AdTarget にアクセスする必要がある場合は、その他のユーザー・グループに対してアプリケーションを使用可能にします。

## ユーザー管理

---

AdTarget では、ユーザー・グループがサポートされています。追加のユーザー・グループを使用可能にするには、組織の管理者が IBM Digital Analytics にログインし、以下のステップを実行する必要があります。

### 手順

1. 「**アドミン**」に移動します。
2. 「**グループを管理**」リンクをクリックします。
3. ユーザー・グループを**作成**するか、**編集**するかを選択します。
4. 「**AdTarget**」チェック・ボックスをクリックして、ユーザー・グループを使用可能にします。

## アプリケーションへのアクセス

---

AdTarget へは、以下の 2 つの方法でアクセスできます。

### 手順

1. Digital Analytics を使用する場合: Digital Analytics にログインし、グローバル・ナビゲーション・メニューから「AdTarget」オプションを選択します。
2. 直接認証を使用する場合: サポートされている Web ブラウザーに <http://adtarget.coremetrics.com> と入力します。AdTarget ログイン画面が表示されます。クライアント ID、ユーザー名、およびパスワードを入力して、アプリケーションへの認証を直接実行します。

## アプリケーションの概要

---

IBM AdTarget は、パートナーとのデータ・シンジケーションのレベルを常に直接管理し、オーディエンス・セグメンテーションのロジックを作成および実装し、表示広告キャンペーンの有効性を評価するために使用します。AdTarget のユーザー・インターフェースは、3つの主要タブ (機能領域) で構成されています。

- レポート

- どの広告キャンペーンが有効で、どのキャンペーンが目標を満たしていないかを確認します。
- キャンペーンが個別のパートナーによっていかに有効的に実行されているかを確認します。

お客様のディスプレイ 広告のマーケティング担当者は、AdTarget の「レポート」タブのキャンペーン・レポートを使用して、お客様が立ち上げるオフサイト広告プログラムのパフォーマンスを追跡できます。AdTarget パフォーマンス・レポートは、プログラムのサマリー・レベルの指標を提供し、さらに詳しく分析したほうがよいと思われる領域を判断できるようにします。クリック帰因のパフォーマンスは、Digital Analytics マーケティング・プログラム・レポートを使用して詳しく分析できます。Impression Attribution ソリューションは、IBM Digital Analytics Explore 内のオフサイト広告インプレッションにコンバージョンを帰因させる機能を提供します。

- 統合

- 複数のパートナーと提携して、それぞれのパートナーに表示広告プログラムのタイプに特化した異なるタイプの訪問者行動データを送信できます。
- 再ターゲットまたは再獲得のために、自身のサイトでのリアルタイムの訪問者アクティビティーに基づくオーディエンス・セグメントを直接指定します。
- 自身の組織のサイト・アクティビティー・データと、どのサード・パーティーとデータを共有するかを常に完全に管理します。

AdTarget の「統合」タブでは、お客様が提携する AdTarget ネットワーク・パートナーと、各パートナーでアクティブに設定するデータ・シンジケーションの特定のレベルを管理します。提携するパートナーと、それらの組織が実施する表示広告キャンペーンで使用するデータのタイプを選択します。「統合」ページでは、Digital Analytics API を通じて、組織のデータ・シンジケーションをお客様が完全に管理できます。シンジケートするために指定するデータは、いつでも変更できます。また、以前にアクティブに設定したパートナーとのデータ・シンジケーションは、完全に使用不可にすることができます。お客様は AdTarget を通じてデータ・シンジケーションを自己管理できるため、Digital Analytics またはパートナー組織に作業要求チケットを申請する必要はありません。

- 管理

- 表示広告マーケティング・マネージャーが作成したオーディエンス・セグメントを確認します。
- 広告ターゲット・パートナーとのデータ・シンジケーションの状況を確認します。

AdTarget の「管理」タブでは、パートナー・シンジケーションの現在の状態を確認できます。Digital Analytics API は、お客様の組織と特定のパートナー間の要求を管理します。AdTarget アプリケーションは、パートナー組織の状況 (アクティブまたは保留中の要求など) を表示します。「管理」タブを使用すると、表示広告キャンペーンに特化して使用するために AdTarget 内で作成されたすべての訪問者セグメントを確認できます。

## 「レポート」メニュー

---

AdTarget は、表示広告マーケティング・マネージャーが各種キャンペーンのパフォーマンスを素早く確認することを可能にする、ネイティブ・レポート作成機能を提供します。

AdTarget には 2 つの標準レポートが用意されています。

1. キャンペーン・パフォーマンス・レポート
2. キャンペーン・ズーム・レポート

## キャンペーン・パフォーマンス・レポート

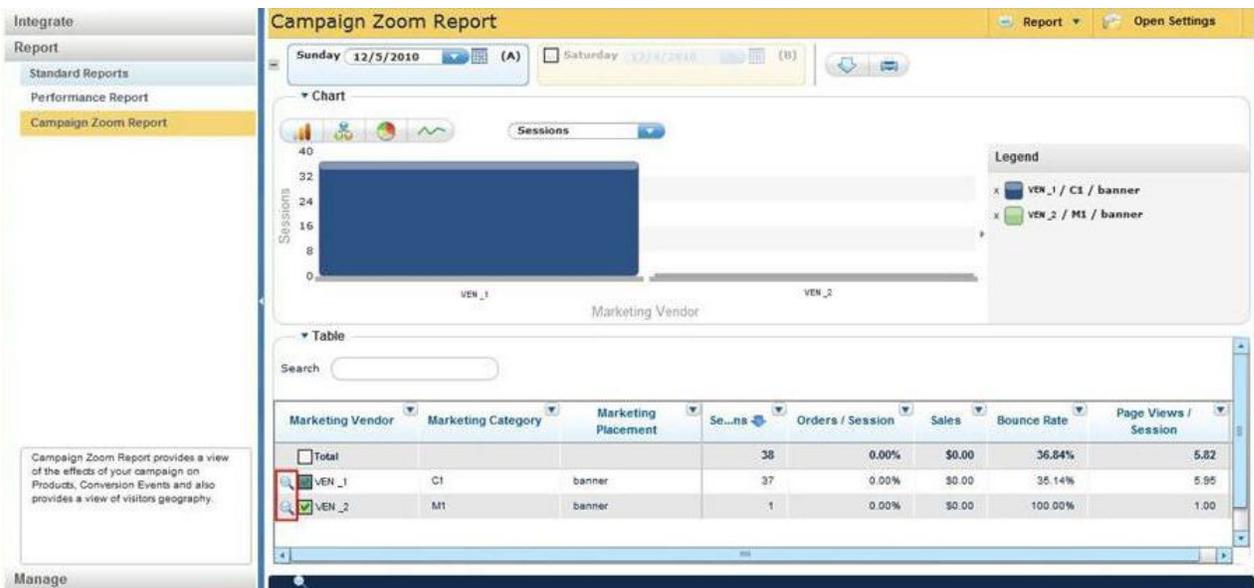
AdTarget キャンペーン・パフォーマンス・レポートでは、表示広告キャンペーンのパフォーマンスを確認できます。

キャンペーン・パフォーマンス・レポートは単純なリスト・レポートであり、マーケティング・ベンダー、カテゴリー、プレースメント、およびアイテム (お客様のディスプレイ広告キャンペーン・リンクの MMC コード) が表示列として事前設定されます。セッション、直帰率、売上などの KPI メトリックが分析のために用意されています。日付範囲の選択、トレンド・グラフの表示、レポートの注釈作成などのすべての標準レポート機能も用意されています。

## キャンペーン・ズーム・レポート

AdTarget キャンペーン・ズーム・レポートでは、プロダクト・イベントとコンバージョン・イベントに対するキャンペーンの効果と、訪問者の地域を確認することができます。

キャンペーン・ズーム・レポートは、3つの関係ズーム・レポートを適用したフラットなリスト・レポートです。1番目の関係ズームは、キャンペーン・コードに関連付けられているプロダクト売上を中心としています。2番目の関係ズームは、指定されたキャンペーン・コードに関連付けられているイベントに関する詳細情報を表示します。3番目のズームは、広告キャンペーンの国、都道府県、および市区町村の解析を表示します。ズーム・レポートの左上隅にあるドロップダウン・メニューを選択して、関係ズーム・レポートを切り替えることができます。



表示広告キャンペーンのデータを元の AdTarget レポートに正常に取り込むには、MMC パラメーターに AdTarget コードを含める必要があります。AdTarget レポートには、at\_ プレフィックスが MMC トラッキング・コードの Placement パラメーター内に含まれているすべての MMC 訪問のデータが含まれます。Digital Analytics MMC コードは、以下の 4 つのカテゴリーから成る階層です。以下のカテゴリーは、マーケティング・キャンペーンの解析を編成するために使用できます。

<Vendor><Category><Placement><Item>

at\_ プレフィックスが表示広告の URL の Placement パラメーター内に存在しない場合、その訪問者トラフィックは AdTarget レポートに含まれません。ただし、そのトラフィックは、Digital Analytics の標準マーケティング・プログラム・レポートには引き続き含まれます。

MMC コードの例:

[http://www.Clientsite.com/...&cm\\_mmc=Vendor\\_-\\_Category\\_-\\_at\\_Placement\\_-\\_Item](http://www.Clientsite.com/...&cm_mmc=Vendor_-_Category_-_at_Placement_-_Item)

注：詳細なクリック帰因解析機能およびキャンペーン全体パフォーマンス解析機能は、Digital Analytics 標準サービス内で提供されます。詳細なクリック帰因解析にマーケティング・プログラム・レポートを使用すると、各表示広告キャンペーンの相対的なパフォーマンスを確認できます。また、表示広告チャンネルの有効性を、Eメールや検索などその他の有料のマーケティング活動と比較して評価できます。

カスタム・データ探索機能は、Digital Analytics Explore ソリューション内で、そのソリューションのライセンス交付を受けたお客様に提供されます。

また、Impression Attribution モジュールのライセンスを取得して、オフサイト広告インプレッションのサイト内コンバージョンの有効性を追跡できます。Impression Attribution レポートは Digital Analytics Explore に用意されています。

Impression Attribution について詳しくは、Digital Analytics アカウント担当者までお問い合わせになるか、<http://support.coremetrics.com/> で提供される資料を参照してください (IBM Digital Analytics Impression Attribution を検索してください)。

## 「統合」メニュー

AdTarget の「統合」メニューは、さまざまな AdTarget ネットワーク・パートナーとのデータ・シンジケーションを構成するコンソールです。

### このタスクについて

選択されたパートナーとのデータ・シンジケーションを有効にするように要求するには、以下の3つのステップがあります。

### 手順

1. AdTarget ネットワーク・パートナーを選択します。

AdTarget の直感的なドラッグ・アンド・ドロップ・ユーザー・インターフェースにより、パートナーを簡単に使用可能にできます。左側のフレームにある「パートナー」のリストから連携する広告ターゲット絞り込みパートナーを選択し、このパートナーを右側のフレームにドラッグします。

2. シンジケートするデータの種類を指定します。

選択したパートナーに渡すデータ・シンジケーション・イベント・タイプ、およびスタンダードまたはカスタム・オーディエンス・セグメントを選択します。AdTarget では、いくつかのベスト・プラクティス・セグメントの他に、独自のカスタム・セグメントを定義するための完全なセグメント仕様ユーザー・インターフェースも利用できます。アクティブ・パートナーごとにシンジケートするセグメントを最大10個まで選択できます。

3. データ・シンジケーションのアクティベーションを要求します。

パートナーとのデータ・シンジケーションがアクティブになった後、そのデータ・シンジケーションの設定をいつでも変更できます。「統合」タブにアクセスし、編集するデータ・シンジケーションのパートナーのアイコンをクリックするだけです。「統合」タブは更新され、そのパートナーの現在のデータ・シンジケーションの選択が反映されます。トランザクション・イベントおよびセグメントを追加または削除し、その後その構成の変更内容を保存することができます。パートナーにはデータ・シンジケーション構成での変更が通知されます。また、Eメール通知サービスを指定した場合、指定されたユーザーはその変更についてのEメール通知を Digital Analytics から受信します。

### 次のタスク

パートナーとのデータ・シンジケーションが一度アクティブになると、常にそのデータ・シンジケーションの構成を変更できます。「統合」タブにアクセスし、編集するデータ・シンジケーションのパートナーのアイコンをクリックするだけです。「統合」タブは更新され、そのパートナーの現在のデータ・シンジケーションの選択が反映されます。トランザクション・イベントおよびセグメントを追加または削除し、その後その構成の変更内容を保存することができます。パートナーにはデータ・シンジケーション構成での変更が通知されます。また、Eメール通知サービスを指定した場合、指定されたユーザーはその変更についてのEメール通知を Digital Analytics から受信します。

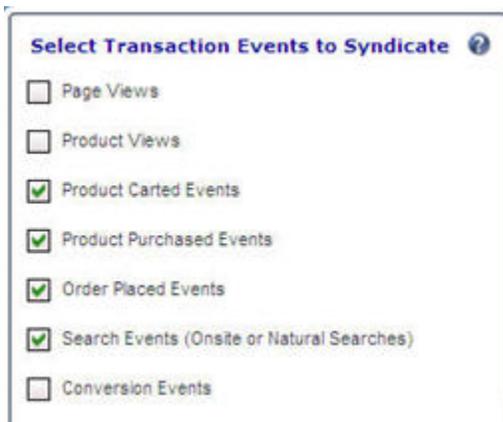
注：パートナーのデータ・シンジケーション構成を保存すると、お客様の組織のデータ・シンジケーション要求を有効(承認)にするようにそのパートナーに要求がサブミットされます。データは、パートナーが

要求を承認するまではサイトからシンジケートされません。AdTarget を使用して起動できる特定の種類のデータ・シンジケーションに関する追加情報については、このユーザー・ガイドの『プロダクション・データ・シンジケーションのセットアップ』を参照してください。

## トランザクション・イベント・シンジケーション

AdTarget では、広告ネットワーク・パートナーのために追加のサード・パーティーサイト・タグをデプロイする必要はありません。AdTarget ソリューションでは、ターゲットを絞り込んだディスプレイ 広告キャンペーンで使用するためにパートナーにシンジケートしたい特定のタグ・タイプや訪問者のサイト・トランザクション・イベントを選択できるためです。

AdTarget では、7つのトランザクション・イベントがサポートされます。



### ページ・ビュー・イベント

ページ・ビュー・イベントは、サイト上で区別してタグ付けされたページを訪問者が表示する時に送信されます。ページ・ビュー・イベントは、ページ ID、名前、カテゴリーをパートナーに送信します。またその他に、Digital Analytics ページ・ビュー・タグで取り込むように設定したオプションのページ属性があれば、その属性も送信します。

### プロダクト・ビュー・イベント

プロダクト・ビュー・イベントは、サイト上で区別してタグ付けされたプロダクト・ページを訪問者が表示した時に送信されます。プロダクト・ビュー・イベントは、プロダクト ID、名前、カテゴリーの他に、Digital Analytics プロダクト・ビュー・タグ内に取り込まれるように構成された可能性のあるオプションのプロダクト属性もパートナーに送信します。

### カート内プロダクト・イベント

カート内プロダクト・イベントは、個々のアイテムが訪問者によってサイトのショッピング・カートに追加された時に送信されます。カート内プロダクト・イベントは、プロダクト ID、名前、カテゴリー、数量、価格の他に、Digital Analytics ショップ・タグ内に取り込まれるように構成された可能性のあるオプションのプロダクト属性もパートナーに送信します。

### プロダクト購入イベント

プロダクト購入イベントは、訪問者がサイトで個々のアイテムのトランザクションを完了した時に送信されます。プロダクト購入イベントは、プロダクト ID、名前、カテゴリー、数量、注文番号、注文合計価格、ベース 価格の他に、Digital Analytics ショップ・タグ内に取り込まれるように構成された可能性のあるオプションのプロダクト属性もパートナーに送信します。

### 注文イベント

注文イベントは、訪問者トランザクションを完了し、そのトランザクションの注文識別番号を生成した時に送信されます。注文イベントは、注文番号、注文合計価格、顧客の郵便番号、都道府県、市区町村の他に、Digital Analytics 注文 タグ内に取り込まれるように構成された可能性のあるオプションの注文属性もパートナーに送信します。

### 検索イベント (サイト内検索または自然検索)

サイト内検索または自然検索イベントは、訪問者が主要な検索エンジンを使用してサイトに到達した時、あるいは、訪問者が訪問時にサイト内で検索を実行した時に渡されます。検索イベントは、検索がサイト内検索であるか、あるいは主要な検索エンジン (Google、Yahoo!、MSN、または AOL) のいずれかによって生成された検索であるかを示すコードをパートナーに送信します。さらに、この検索イ

イベントは、検索語、検索結果数(タイプがサイト内検索の場合のみ)、およびオフサイト検索が課金検索リンクからのものか自然検索リンクからのものかを示すパラメーターも送信します。

### コンバージョン・イベント

コンバージョン・イベントは、非商業的な関連サイト・コンバージョン(ドキュメントをダウンロードする、記事を読む、マーケティング・ビデオを視聴するなど)を特定するために使用されます。コンバージョン・イベントは、イベント ID、カテゴリー、操作の種類(1-開始、2-完了)、イベント・ポイントの他に、Digital Analytics コンバージョン・イベント・タグ内に取り込まれるように構成された可能性のあるオプションのページ属性もパートナーに送信します。

AdTarget では、あらゆるパートナーと共有するトランザクション・イベントの直接制御が維持されます。各イベント・タイプの横にあるチェック・ボックスにより、選択したパートナーとシンジケートするデータ・エレメントが決定されます。AdTarget パートナー(同時に最大3つまで)とのシンジケーションに対して構成できるイベントは、1つ、なし、あるいはすべてです。トランザクション・イベントに加えて、あるいはこのイベントの代わりに、シンジケーションに特定のオーディエンス・セグメントを選択できます。アクティブ・パートナーごとにシンジケートするセグメントを最大10個まで選択できます。

### オーディエンス・セグメント・シンジケーション

訪問者がサイトを閲覧するときにサイト・トランザクション・イベントをリアルタイムで送信するのに加えて、パートナーがお客様の代わりに実施する広告キャンペーンで使用するために、セグメント識別子情報をパートナーにシンジケートするように AdTarget を構成できます。

AdTarget は、強力な臨時オーディエンス・セグメント定義機能を提供するだけでなく、開始するときにすぐに使用可能ないくつかのセグメントも提供します。AdTarget がデフォルトで提供するオーディエンス・セグメント・ロジックを確認するには、「セグメント・カテゴリー」ドロップダウン・メニューの「スタンダード・セグメント」を選択します。

**Select Segments to Syndicate** 

Segment Category **Standard Segments**

Available Segments	Selected Segments
Natural Search Visitors	BusinessWeek Campaign
Direct Load Visitors	Gallery Campaign
Referring Site Visitors	Coremetrics.com Visitors
Marketing Program Visitors	World Campaign
High Engagement Visitors	
New Session Visitors	
Repeat Session Visitors	
Buyers	
Event Initiators	
Event Completers	
Geo Target: EST Visitor	
Geo Target: CST Visitor	
Geo Target: MST Visitor	
Geo Target: PST Visitor	
Geo Target: US Visitor	
Geo Target: Non US Visitor	

**New** **Copy** **Edit** **Delete** **Remove**

1 of 15 Segments Remaining

## スタンダード・セグメント

### 直接ロード訪問者数

直接ロードを使用してサイトにアクセスしているすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

### 参照元サイト訪問者数

参照元サイトを使用してサイトにアクセスしているすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

### マーケティング・プログラム訪問者数

Digital Analytics マーケティング・プログラムを使用してサイトにアクセスしているすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

### 高関与率訪問者数

訪問中にサイト上で 5 ページより多くのページにアクセスしていて、訪問時間が 300 秒を超えるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

### 新規訪問訪問者数

訪問中にサイトにアクセスするのが初めてであるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

### リピーター訪問訪問者数

訪問中にサイトにアクセスするのが初めてではないすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

### 購入者数

訪問中にサイト上で注文するすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## イベント開始者数

訪問中にサイト上で少なくとも1つのコンバージョン・イベントを開始するすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## 自然検索訪問者数

訪問中に自然検索を使用してサイトにアクセスしているすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## イベント完了者数

訪問中にサイト上で少なくとも1つのコンバージョン・イベントを完了するすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## ジオ・ターゲット: EST 訪問者

コンピューターのタイム・ゾーン設定に基づいて、EST タイム・ゾーンからの訪問者として識別されるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## ジオ・ターゲット: CST 訪問者

コンピューターのタイム・ゾーン設定に基づいて、CST タイム・ゾーンからの訪問者として識別されるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## ジオ・ターゲット: MST 訪問者

コンピューターのタイム・ゾーン設定に基づいて、MST タイム・ゾーンからの訪問者として識別されるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## ジオ・ターゲット: PST 訪問者

コンピューターのタイム・ゾーン設定に基づいて、PST タイム・ゾーンからの訪問者として識別されるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

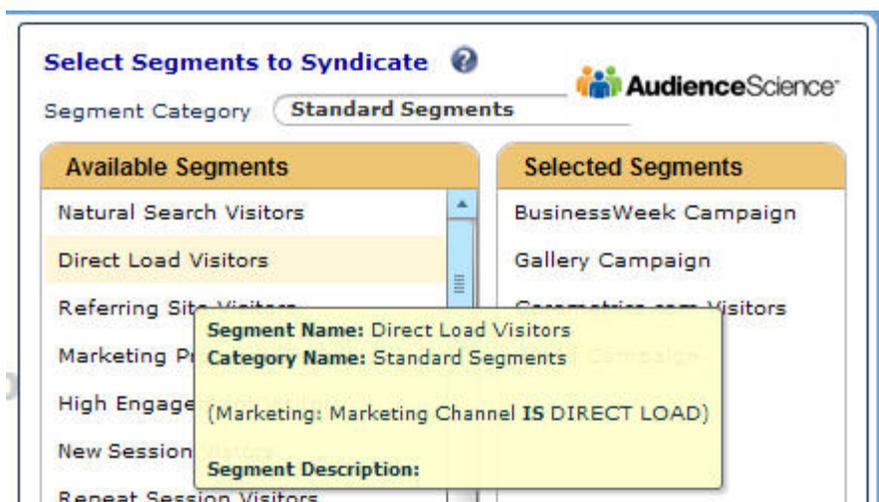
## ジオ・ターゲット: 米国訪問者

コンピューターのタイム・ゾーン設定に基づいて、米国からの訪問者として識別されるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

## ジオ・ターゲット: 米国以外の訪問者

コンピューターのタイム・ゾーン設定に基づいて、米国以外からの訪問者として識別されるすべての訪問者を含むオーディエンス・セグメント。

セグメントの上にマウスを移動すると、そのセグメントの実際のセグメント条件が表示されます。



AdTarget によって提供されるスタンダード・セグメントは、直接使用することも、オフサイト表示広告のターゲットにするサイト訪問者のグループを定義するための開始点として使用することもできます。スタンダード・セグメントを選択するには、選択したいセグメントを「使用可能なセグメント」リストから「選択したセグメント」ボックスにドラッグ・アンド・ドロップするか、セグメントをダブルクリックして選択します。以前に選択したセグメントを削除するには、セグメントをダブルクリックしてからドラッグ・アンド・ドロップして「使用可能なセグメント」リストに戻るか、セグメントを強調表示してから「削除」をクリックします。

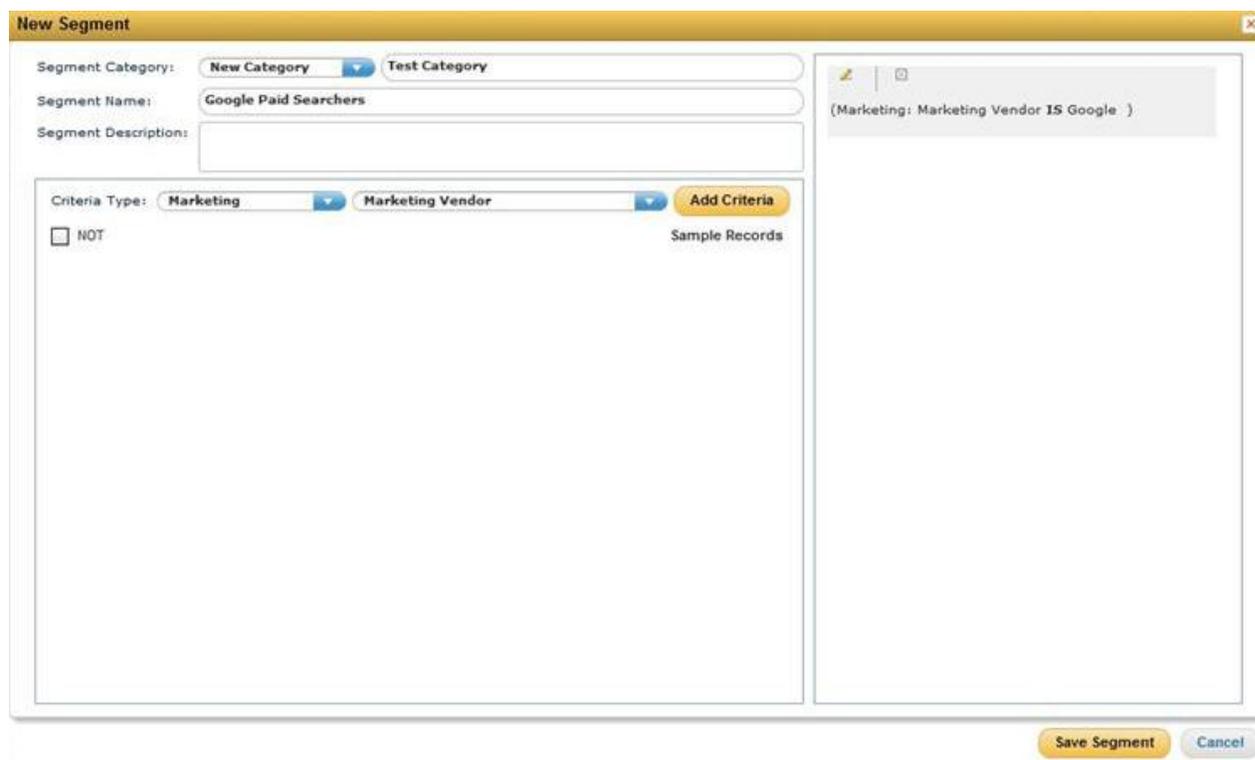
カスタム・セグメント定義の開始点として、スタンダード・セグメントに適用されるロジックを使用するには、セグメントをクリックしてから「コピー」を選択します。「セグメントをコピー」編集画面が表示さ

れるので、既存のロジックを編集するか、追加条件を使用してロジックを拡張することができます。セグメンテーション作成機能は、Digital Analytics Explore で提供される機能を反映しています。

## 新規またはカスタム・セグメント

AdTarget で使用する新規オーディエンス・セグメントを作成するには、「新規」をクリックすると、「新規セグメント」ユーザー・インターフェースが表示されます。

1. 新規セグメントを割り当てる既存のカテゴリを選択するか、または新規カテゴリを作成します。
2. セグメントの名前を指定します。
3. 条件を選択し、複数の条件を積み重ねてセグメントを定義します。次の例では、使用率の高い Google 課金検索者のオーディエンス・セグメントを表示しています。セグメント条件は、訪問者による訪問のマーケティング・プログラムが「Google」で、少なくとも 5 ページを表示し、少なくとも 500 秒間訪問していることです。



AdTarget オーディエンス・セグメントの作成時に、条件を 1 つ選択するか (例: 「スポーツが含まれているページ」)、または「マーケティング・ベンダー」または「プロダクト名」のような複数の条件をまとめて積み重ねます。

## 既存のセグメントの編集、コピー、または削除

既存のセグメントを編集するには、編集したいセグメントを選択し、「セグメントを編集」をクリックします。作成済みのパートナー・シンジケーションでこのセグメントが既に使用されている場合は、警告が表示されます。

既存のセグメントをコピーするには、「セグメントをコピー」をクリックします。

既存のセグメントを削除するには、「削除」をクリックします。他のレポートでこのセグメントが使用されている場合は、警告が表示されます。削除はグローバルであり、現在有効な他のパートナー・シンジケーションに影響するため、注意してください。

1 つの AdTarget パートナー・データ・シンジケーションに対して、最大 10 個のセグメントを構成できます。この制限に達した場合は、「使用可能なセグメント」テーブルから「選択したセグメント」テーブルにセグメントを追加できなくなります。

## E メール通知

「統合」タブには「E メール通知」テキスト・ボックスがあります。このテキスト・ボックスには、パートナーのデータ・シンジケーション状態が変更されたときに常に通知される個人のEメール・アドレスを複数入力できます。

Digital Analytics は、パートナーのシンジケーション・アクティベーション要求が送信、承諾、または無効化された場合は常にこれらのすべての個人にEメール通知を送信します。

## パートナー状況

「統合」タブには、現在構成されている AdTarget パートナーが表示されます。

複数のパートナー間で切り替えるには、「統合」タブ・ユーザー・インターフェースの 下部にあるロゴをクリックします。

パートナーのシンジケーションの現在の状況を確認するには、「パートナー」ボタンか、あるいはパートナー用に表示されている状況標識の色にマウスを移動します。

## 「管理」メニュー

AdTarget の「管理」メニューを使用することで、パートナー・データ・シンジケーションをモニターできるので、AdTarget オーディエンス・セグメントを管理したり、AdTarget ネイティブ・レポート内で作成したあらゆる注釈を管理したりできます。

「管理」メニューには3つのセクションがあります。

1. パートナー・シンジケーション
2. セグメント
3. 注釈

## パートナー・シンジケーション

「パートナー・シンジケーション」ページには、AdTarget パートナーすべての現在の状態を示すテーブルが表示されます。

各パートナーごとにデータ・シンジケーションがアクティブであるか、保留であるかなどを確認できます。また、この管理ページから、パートナーとのシンジケーションを無効にしたり、一部の追加の管理操作を実行することもできます。

## セグメント

セグメントの管理は、パートナー・シンジケーション構成プロセス中以外に、AdTarget の「管理」>「セグメント」画面から行うこともできます。

セグメント・カテゴリーをクリックして対象セグメントを見つけ、編集、コピー、または削除をクリックします。または、「**新規セグメントを作成**」をクリックして新規セグメントを作成することもできます。このセグメントは、新規パートナーの構成時、または既存のパートナーの編集時に選択しない限り、パートナー・シンジケーションに適用されません。フィールドをソートするには、列ヘッダーをクリックします。

## 注釈

ネイティブ AdTarget レポートは、注釈などの最も標準的なレポート機能をサポートします。

日別注釈の管理は、トレンド・ビューで日別注釈の上にマウスを移動して「編集」または「削除」をクリックすること以外に、AdTarget の「管理」>「注釈」画面から行うこともできます。

管理する注釈を探し、「編集」または「削除」を選択します。フィールドをソートするには、列ヘッダーをクリックします。

## AdTarget ネットワーク・パートナー

---

AdTarget と Digital Analytics API を使用したデータ・シンジケーションは、多くの有力な広告ターゲット絞り込み企業との提携を通じて利用できます。AdTarget ネットワーク・パートナーのリストは常に更新され、新規パートナーが追加されています。

現在実装されているすべての AdTarget パートナーは、アプリケーション・ユーザー・インターフェースに表示されます。

### 重要:

AdTarget を使用したデータ・シンジケーションにより、各サイト訪問者のブラウザーには、承認済みネットワーク・パートナー・コードまたは Cookie (あるいはその両方) が導入されます。そのため、シンジケーションを「ACTIVE」状態に移行する前に、包括的なテスト作業を実施することが非常に重要です。このタスクを容易にするために、Digital Analytics では、「ACTIVE\_TEST」というテスト状態を提供し、すべての AdTarget シンジケーションにこの状態を通過することを義務付けています。

パートナー・データ・シンジケーションを「ACTIVE」状態にプロモートできるのは、Digital Analytics のクライアントのみです。そのため、クライアントは、Web サイトの機能と AdTarget パートナー・シンジケーション・コードの間で問題または競合が発生しないことを確認する最終的な責任を負います。

AdTarget テスト・ガイド (Digital Analytics お客様サポート・センターで入手できます) には、「ACTIVE\_TEST」状態でのシンジケーションのテストに必要なステップの詳細が記載されています。

### 注:

AdTarget は、お客様が提携先として選択したパートナー組織に対して、お客様のサイトの訪問者アクティビティ・データをシンジケートしやすくなるように支援します。お客様の組織は、パートナーのサービスを使用して展開する表示広告キャンペーンに関して、データをシンジケートするために提携する各パートナーと個別に契約する必要があります。AdTarget ネットワーク・パートナー組織との連絡に関して支援が必要な場合は、Digital Analytics アカウント担当者までお問い合わせください。各パートナー組織の適切な担当者をご紹介します。

広告掲載申込みまたはその他の表示広告サービス契約をパートナーと締結せずに、パートナーとのデータ・シンジケーションをアクティブにすると、ほとんどの場合にパートナーはデータ・シンジケーション要求を拒否します。

## 将来の AdTarget パートナー

---

Digital Analytics は、行動ベースのターゲットの絞り込みを実施する新しい企業を、AdTarget パートナー・リストに継続的に追加します。

現在、「統合」メニュー>「パートナー」リストにリストされたもの以外の組織と連携しており、それら組織を AdTarget に統合する必要がある場合は、Digital Analytics 窓口に連絡してください。

## パートナーの認定

---

Digital Analytics AdTarget パートナー認定の主要な目的は、将来のパートナーが Digital Analytics を使用した API とデータ・シンジケーション統合を完全に理解することです。

Digital Analytics は、その認定プロセス時に、すべての API 呼び出しと、将来のパートナーとのデータ・シンジケーション・イベントをテストして、これらの統合コードが主要なブラウザー・バージョン間で適切に機能すること、さらに、要求から応答への待ち時間が許容しきい値内にあることを確認します。各クライアント・サイトでは、他の多くのベンダー・テクノロジーとコードが適用された固有の方法でデプロイされる可能性があるため、パートナーは、クライアントの特定のニーズをサポートするように統合を変更することが必要になる場合があります。Digital Analytics は、クライアントとパートナーの固有の各統合を認定することはできませんが、いくつかの堅固なメカニズムを提供することにより、パートナーとクライ

アントの両方がシンジケーションを プロダクションにプロモートする前にそのシンジケーションをテストできるようにしています。

1. **AdTarget ACTIVE\_TEST モード:** デフォルトでは、Digital Analytics クライアントを使用したパートナー承認済みシンジケーションはすべて、自動的にテストモードに入れられます。テスト・モードは、クライアントのプロダクション Web サイトへの 訪問者すべて (ブラウザーに特定の Digital Analytics テスト Cookie を設定している 訪問者を除く) のデータ・シンジケーションを無効にします。クライアントとパートナーがテスト・モードにある間、クライアントとパートナーは データ・シンジケーションをテストしてクライアント・サイトに予想外の影響が 検出されないことを確認する必要があります。クライアントとパートナーがテスト・モードで AdTarget データ・シンジケーションを十分にテストした場合、クライアントはシンジケーションを **アクティブ・モード** にプロモートできます。このモードでは、各サイト訪問者 (サイトのトラッキングを オプトアウトした訪問者を除く) は、クライアントとパートナーの間で指定された AdTarget データ・シンジケーション内に組み込まれます。



**注意:** 予期しないサイト動作が通知され、選択されたパートナーとの AdTarget データ・シンジケーションが原因である可能性がある場合は、テスト・モードに戻してシンジケーションを無効にしてください。「管理」 > 「パートナー・シンジケーション」 ページにあるボタンを使用すると、パートナーとのアクティブ・シンジケーションを無効にすることができます。詳しくは、[15 ページの『プロダクション・データ・シンジケーションのセットアップ』](#)を参照してください。

Partner	State	Action
AudienceScience	Syndication Active	[Edit] [Delete]
Dotomi	Syndication Active	[Edit] [Delete]
Criteo	Syndication not yet approved by Partner	[Edit]
Tumri	Partner Not Configured	[Edit]
OpenX	Partner Not Configured	[Edit]
Steel House	Partner Not Configured	[Edit]

2. **Digital Analytics パートナーの Javascript モニター:** すべての AdTarget パートナーは、Digital Analytics 統合への変更が必要なおきには常にクライアントに通知することの重要性を理解しています。パートナーの JavaScript ベースの統合を積極的にモニターするために、Digital Analytics は、パートナーによって提供されたロケーションでホストされるすべてのパートナー Javascript のスナップショットおよびバージョンを作成します。これにより、Digital Analytics はすべての変更をモニターできます。Digital Analytics は、パートナーの JavaScript ファイルを 10 分ごとに検査します。パートナーの JavaScript が変更されると、Digital Analytics 内の適切な AdTarget サポート 担当者に警告の E メールが送信されるため、パートナーへの連絡、またはそのパートナーとアクティブ・データ・シンジケーションが有効になっているすべての Digital Analytics クライアントへの連絡が可能になります。Digital Analytics パートナーの JavaScript モニターにより、パートナーがクライアントへの通知を行わずに統合を変更するリスクをなくすことはありませんが、その変更がお客様のサイトに悪影響を及ぼす場合は Digital Analytics とクライアントが積極的にシンジケーションを無効にすることができますようにします。

## プロダクション・データ・シンジケーションのセットアップ

AdTarget ユーザー・インターフェースを使用してパートナーとのデータ・シンジケーションをセットアップするプロセスは簡単ですが、パートナーをプロダクション (アクティブとも呼ばれます) データ・シンジケーションにプロモートするために必要ないくつかのコミュニケーション・ステップがあります。

## このタスクについて

パートナーとのプロダクション・データ・シンジケーションを開始するために必要なステップは以下のとおりです。

### 手順

#### 1. クライアントがパートナー・シンジケーションを構成します。

まず最初に、AdTarget データ・シンジケーションを構成するパートナーを選択します。訪問者サイト・トラフィックを基にパートナーに送信するトランザクション・イベントおよびセグメントを指定します(使用可能なデータ・シンジケーション・オプションについて詳しくは、[13 ページの『パートナー・シンジケーション』](#)を参照してください)。パートナー・データ・シンジケーション設定を保存すると、「パートナー」アイコンが**保留状態**に設定されます。この状態は、データ・シンジケーションを要求したが、パートナーがその要求をまだ承認していないことを示します。Digital Analytics API との統合を使用すると、パートナーは、アプリケーションからサブミットされた AdTarget クライアント要求をモニターし、クライアントからのデータ・シンジケーション要求に応答します。

選択したパートナーがデータ・シンジケーションについての要求に応答(承諾または拒否)していない場合は、そのパートナーに直接連絡してください。さらに支援が必要な場合は、Digital Analytics ソリューション・アーキテクトに連絡してください。

**注:** パートナーは、AdTarget クライアントからのデータ・シンジケーション要求を拒否したり、クライアントとのアクティブ・データ・シンジケーションを無効にする権限を保有しています。パートナーは、データ・シンジケーション要求を有効にする前に、お客様の組織とのディスプレイ広告についての関係が既に存在していることを想定しています。パートナーがシンジケーション要求を拒否したり、前にアクティブ状態になっていたシンジケーション要求を無効にすると、それに応じて「AdTarget 統合」タブがそのパートナーの状況を更新します。パートナーによるシンジケーションの無効化アクションの例を以下に示します。

#### 2. パートナーがシンジケーションを承認します。

データ・シンジケーションには、AdTarget パートナーが作成したサード・パーティー・コードが含まれますが、このコードによってお客様の組織のサイトで想定外の結果が生じる可能性もあるため、Digital Analytics は、パートナーの承認時にデータ・シンジケーションを即時にアクティブにすることはありません。パートナーがクライアントからの AdTarget データ・シンジケーション要求を承認すると、データ・シンジケーションはテスト・モードで有効になります。テスト・モードでは、テスト Cookie が訪問者のブラウザに設定されている場合に限って、データ・シンジケーション用のパートナー統合コードがクライアントのプロダクション Web サイトから呼び出されるようになります。

クライアントとパートナーの両方でテスト Cookie を設定できます。これにより、Digital Analytics JavaScript ライブラリーがテスト・モードで実行され、さらに、このライブラリーはテスト・モードでパートナーの設定をロードします。

AdTarget テスト Cookie を設定するには、クライアント・サイトをロード(クライアントのホーム・ページ(例: <http://www.Client-site.com/>))にナビゲートして、次に、ブラウザのアドレス・バー内に以下を貼り付けます。

```
javascript:(function() {document.Cookie="CorePartnerMode=TEST"}())
```

このコードにより、Cookie がページのドメイン(例: [www.Partner-site.com](http://www.Partner-site.com))に設定されます。より高いレベルのドメインに Cookie を設定するには、以下を使用します(ドメインには適切なものを置換してください)。

```
javascript:(function() {document.Cookie="CorePartnerMode=TEST;domain=.Partner-site.com"}())
```

**注:** クライアントおよびパートナーの両組織の担当者が、データ・シンジケーションを即時にアクティブ(プロダクション)モードにプロモートするのではなく、「テスト」モード中に AdTarget データ・シンジケーションをテストすることは非常に重要です。お客様のサイトに他のサード・パーティーからのコードが取り込まれたり、他の固有のコードがお客様のサイトにデプロイされる可能性があるため、パートナーの AdTarget データ・シンジケーション統合がお客様のサイトで適切に機能することを確認することは重要です。クライアントとパートナーの両方がソリューションを十分にテストした後でのみ、AdTarget データ・シンジケーションをアクティブ状態にプロモートしてください。

### 3. パートナーをプロダクションにプロモートします。



**注意:** AdTarget を使用してデータ・シンジケーションを行うと、各サイト訪問者のブラウザーに承認済みのネットワーク・パートナー・コードまたは Cookie が導入されます。そのため、あらゆるシンジケーションを「ACTIVE」状態に移動する前に包括的なテストを実施することが極めて重要になります。このタスクを容易にするために、Digital Analytics では、「ACTIVE\_TEST」というテスト状態を提供し、すべての AdTarget シンジケーションにこの状態を通過することを義務付けています。

パートナー・データ・シンジケーションを「ACTIVE」状態にプロモートできるのは、Digital Analytics のクライアントのみです。そのため、クライアントは、Web サイトの機能と AdTarget パートナー・シンジケーション・コードの間で問題または競合が発生しないことを確認する最終的な責任を負います。

「ACTIVE\_TEST」状態でシンジケーションをテストするために必要なステップについて詳しくは、<http://support.coremetrics.com/> ( IBM Digital Analytics Import リリース・ノートで検索) で入手可能な「AdTarget テスト・ガイド」を参照してください。

テストが完了した直後に、「AdTarget の管理」タブの「パートナー・シンジケーション」ページを使用して、パートナーとのデータ・シンジケーションがプロダクションへプロモートされます。「管理」タブ>「パートナー・シンジケーション」ページにナビゲートし、「このパートナーをアクティブ状態に切り替える」をクリックして選択したパートナーをテストからプロダクション・モードにプロモートしてください。アクティブ・モードでは、AdTarget アプリケーションで指定された設定パラメーターに従って、パートナーとのデータ・シンジケーションがすべてのサイト訪問者に対して開始されます。ただし、個々のサイト訪問者が、ブラウザーに Digital Analytics オプトアウト Cookie を設定してトラッキングを拒否していないことが条件となります。

Partner	State	Action
[x+1]	Partner Not Configured	
Aberno	Partner Not Configured	
AudienceScience	Syndication Active	Switch this Partner to Active Test state
ChoiceStream	Partner Not Configured	
Crimtan	Partner Not Configured	
Criteo	Syndication not yet approved by Partner	
DataLogix	Partner Not Configured	
Dotomi	Syndication Active	
eTarget	Partner Not Configured	
FetchBack	Partner Not Configured	
Media Innovation Group	Partner Not Configured	
MediaDegrees	Partner Not Configured	
MediaForge	Partner Not Configured	
MyThing	Partner Not Configured	
Netmining	Partner Not Configured	

パートナーをプロモートした直後に、選択したパートナーの新しい状態を反映するように「パートナー・シンジケーション」ページが更新されます。AdTarget の「統合」タブに戻ると、そのパートナーの状況がテストからアクティブ (プロダクション) に変更されたことを確認できます。

### 4. パートナーを無効にします。

あるパートナーにデータをシンジケートする必要がなくなった場合は、そのパートナーを無効にすることができます。AdTarget の「管理」タブ内の「パートナー・シンジケーション」ページにナビゲートし、「このパートナーを無効にする」をクリックします。

Partner	State	Action
[x+1]	Partner Not Configured	
Acerno	Partner Not Configured	
AudienceScience	Syndication Active	 
ChoiceStream	Partner Not Configured	
Crimtan	Partner Not Configured	
Criteo	Syndication not yet approved by Partner	 
DataLogix	Partner Not Configured	
Dotomi	Syndication Active	  
eTarget	Partner Not Configured	
FetchBack	Partner Not Configured	
Media Innovation Group	Partner Not Configured	
Media6Degrees	Partner Not Configured	
MediaForge	Partner Not Configured	
MyThing	Partner Not Configured	
Nesmining	Partner Not Configured	

パートナーを無効にした直後に、「パートナー・シンジケーション」ページが更新され、選択したパートナーの新しい状態が表示されます。AdTargetの「統合」タブに戻ると、そのパートナーの状況がアクティブ (プロダクション中) からシンジケーション無効に変更されたことを確認できます。

#### 5. 「テスト」に戻します。

パートナーとのシンジケーションを無効にするのではなく、プロダクション・データ・シンジケーションを中断する必要がある場合は、そのパートナーをアクティブ状態からテスト状態に戻すことができます。これは、ブラウザにテスト Cookie を明示的に設定した訪問者を除くすべての訪問者に対してプロダクション・データ・シンジケーションを中断します。

プロダクション Web サイトの操作で問題が発生し、それらの問題が AdTarget データ・シンジケーションに帰因すると考えられる場合は、トラブルシューティングを行う最初のステップとして、パートナーをアクティブ状態からテスト状態に戻します。これにより、Digital Analytics、パートナー、およびクライアントは問題が AdTarget 機能に関連するかどうかを判別できます。



**注意:** 予期しないサイト動作が通知され、選択されたパートナーとの AdTarget データ・シンジケーションが原因である可能性がある場合は、テスト・モードに戻してシンジケーションを無効にしてください。「管理」タブ > 「パートナー・シンジケーション」ページにあるボタンを使用すると、パートナーとのアクティブ・シンジケーションを無効にすることができます。

**注:** パートナー・シンジケーションを無効にするか、またはテストに戻すと、お客様に代わってデータ収集を管理するすべての Digital Analytics システムにデータを完全に伝搬するのに数分かかります。サイトの問題が発生し、パートナーとの AdTarget シンジケーションを無効にして AdTarget がその問題の原因になっているかどうかを判別する場合は、システムがその要求を処理するのに数分かかることをご了承ください。AdTarget がクライアントとパートナーのデータ・シンジケーションを無効にするか、またはテストに戻すのに 10 分まではかかりません。

# IBM Digital Analytics アプリケーションの再ターゲット化

Digital Analytics マーケティング最適化スイートにおけるアプリケーションの統合により、Digital Analytics Explore で提供されるレポートから直接、AdTarget オーディエンス・セグメントを迅速に定義できます。

お客様の組織が、AdTarget の他に Digital Analytics Explore のライセンスをお持ちの場合は、その他のアプリケーション操作の横に「訪問者をターゲット」アイコンが表示されます。



Digital Analytics Explore のレポートからの分析のコンテキストでは、レポートで、関連付けられている訪問者総数を再ターゲット化する行を1つ以上選択できます。行を選択するには、その行の左側のチェックボックスをクリックします。レポートの行を選択した後で、「訪問者をターゲット」をクリックし、「AdTarget: 表示広告で訪問者をターゲット」を選択します。訪問者総数を再ターゲット化することを選択すると、実質的に AdTarget 訪問者セグメントを定義することになります。選択したレポート行に基づくターゲット・セグメント条件の要約を示すダイアログが表示されます。データ・コンテキストによっては、以下の選択ボックスを使用して、再ターゲット化セグメントを明確に指定することが求められます。

## 表示列

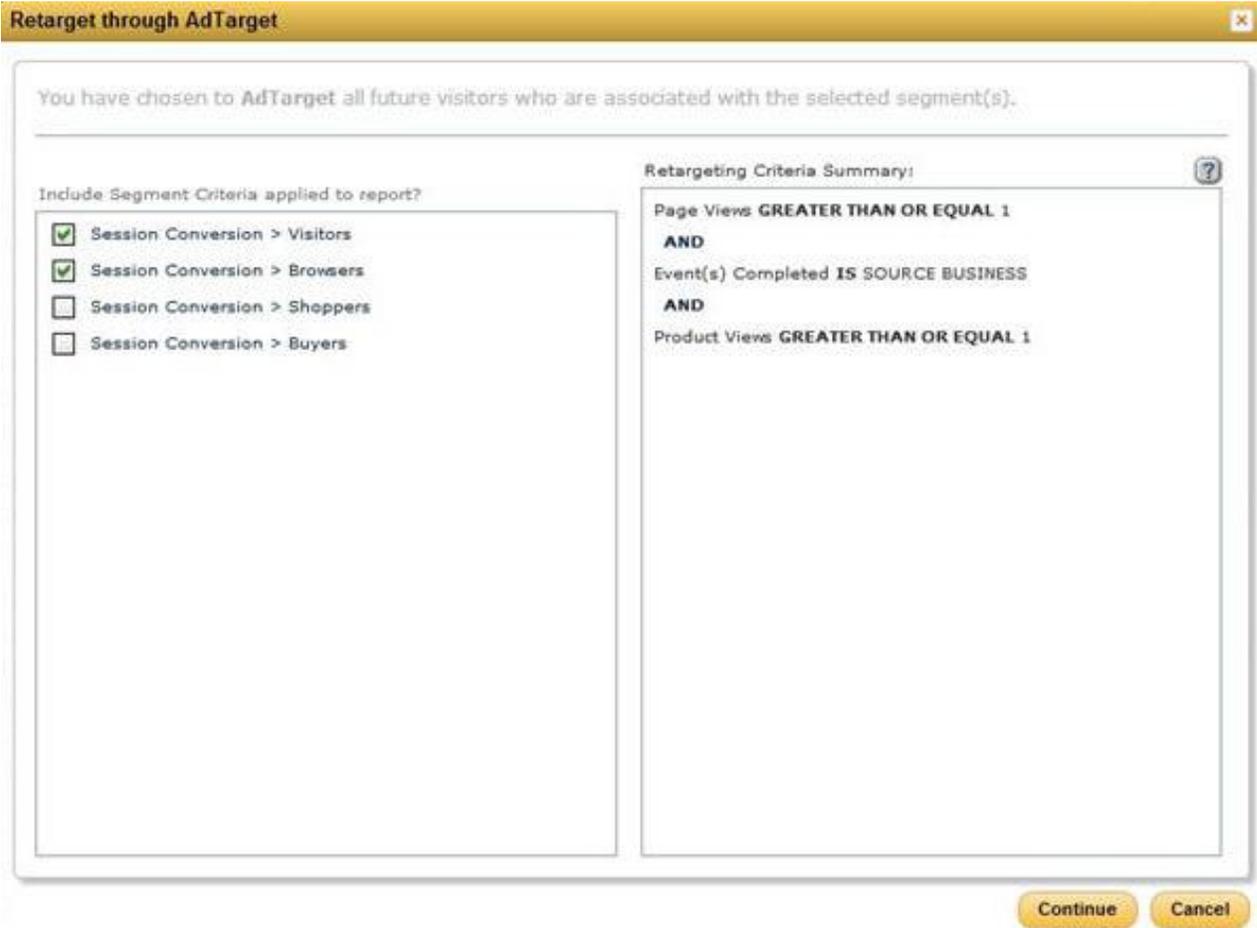
レポートに複数の表示列が含まれる場合、セグメント条件のベースとなる列を選択します。列を選択すると、更新された「再ターゲットの条件サマリー」が表示されます。

## 操作

プロダクト列またはイベント列に基づくレポートの場合、実行する操作を詳細に指定します。例えば、プロダクト列に基づいてターゲットを絞り込む場合は、放棄されたプロダクト、ショッピング・カートに入ったプロダクト、購入したプロダクト、表示されたプロダクトなどのオプションが表示されます。イベントに基づいてターゲットを絞り込む場合は、開始イベント数または完了イベント数などのオプションが表示されます。

## セグメントを含める (Include Segment):

IBM Digital Analytics Explore レポートと同じ訪問セグメントが適用されている場合、チェック・ボックスをクリックして、その条件を再ターゲット化セグメント定義に追加することもできます。



## AdTarget への転送後

「続行」をクリックした後に、セグメント定義が AdTarget に渡され、「セグメント定義」画面が表示されます。この画面には条件のサマリーが表示され、新規セグメントの名前を指定するよう求められます。この画面では、条件を編集するか、または条件を追加することもできます。セグメントを保存し、後で適用するには、「セグメントを保存」をクリックします。フィールドへの追加またはシンジケートを行う準備ができている場合は、AdTarget で「保存してシンジケート (Save and Syndicate)」をクリックします。次に、この新規オーディエンス・セグメントを追加する行動ベースのターゲット絞り込みパートナー構成を選択します。

## セグメンテーション・オプション

Digital Analytics Explore では、幅広いセグメンテーション・オプションとデータ・フィールドがサポートされています。ユーザーが使用できるのは、Digital Analytics Explore と AdTarget の共通のセグメンテーション・オプションのみです。選択した条件が AdTarget でサポートされているセグメント条件に適用されない場合は、通知されます。AdTarget に渡されるセグメント定義はすべて本質的に「同一訪問」でなければなりません。特定の条件定義を AdTarget に渡すことができるかどうかを以下の表に示します。「はい」は渡すことができることを示し、「いいえ」は現時点では渡すことができないことを示します。フィールドの名前が示されている場合は、多少異なる名前で渡されることを示し、「アクションの種類を明確化 (Action Type Clarify)」は、ユーザーに対してフィールドの使用方法を指定するように促すことを示します (例えば、購入したプロダクト、放棄されたプロダクト、参照されたプロダクト、ショッピング・カートに入ったプロダクトなど)。

Digital Analytics Explore のフィールド	AdTarget のフィールド
登録	
登録 ID	いいえ

Digital Analytics Explore のフィールド	AdTarget のフィールド
E メール・アドレス	いいえ
登録者	いいえ
購入者	いいえ
新規/リピート訪問者	いいえ
性別	いいえ
年齢	いいえ
学歴	いいえ
所得水準	いいえ
登録属性	いいえ
登録されている国	いいえ
登録されている都道府県	いいえ
登録されている市区町村	いいえ
登録されている郵便番号	いいえ
<b>トップ・ライン</b>	
売上	はい
注文数	はい
プロダクト・ビュー	はい
カート内アイテム数	カートに入ったアイテム
注文アイテム数	購入アイテム数
放棄アイテム数	いいえ
ページ・ビュー	はい
サイト内検索	はい
イベント数	合計完了イベント数
イベント・ポイント	はい
エレメント・ビュー	はい
訪問時間	はい
<b>マーケティング</b>	
マーケティング・チャンネル	はい
マーケティング・プログラム	はい
マーケティング・ベンダー	はい
マーケティング・カテゴリー	はい
マーケティング・プレースメント	はい
マーケティング・アイテム	はい
マーケティング属性	はい
自然検索エンジン	はい

Digital Analytics Explore のフィールド	AdTarget のフィールド
自然検索用語	はい
参照元サイト	はい
参照元 URL	はい
宛先 URL	はい
<b>マーチャンダイジング/プロダクト</b>	
注文 ID	はい
プロダクト・ビュー属性	はい
ショッピング属性	はい
注文属性	はい
表示プロダクト・カテゴリ - 完全	表示プロダクト・カテゴリ
表示プロダクト・カテゴリ - トップ	いいえ
表示プロダクト・カテゴリ - ボトム	いいえ
表示プロダクト名	表示プロダクト名
表示プロダクト ID	表示プロダクト ID
カート内プロダクト・カテゴリ - 全体	カート内プロダクト・カテゴリ
カート内プロダクト・カテゴリ - トップ	いいえ
カート内プロダクト・カテゴリ - ボトム	いいえ
カート内プロダクト名	カート内プロダクト名
カート内プロダクト ID	カート内プロダクト ID
放棄プロダクト・カテゴリ - 全体	いいえ
放棄プロダクト・カテゴリ - トップ	いいえ
放棄プロダクト・カテゴリ - ボトム	いいえ
放棄プロダクト名	いいえ
放棄プロダクト ID	いいえ
購入プロダクト・カテゴリ - 全体	購入プロダクト・カテゴリ
購入プロダクト・カテゴリ - トップ	いいえ
購入プロダクト・カテゴリ - ボトム	いいえ
購入プロダクト名	購入プロダクト名
購入プロダクト ID	購入プロダクト ID
プロダクト・カテゴリ - 全体	[アクションの種類を明確化]
プロダクト・カテゴリ - トップ	[アクションの種類を明確化]
プロダクト・カテゴリ - ボトム	[アクションの種類を明確化]
プロダクト ID	[アクションの種類を明確化]
プロダクト名	[アクションの種類を明確化]
<b>コンテンツ</b>	

Digital Analytics Explore のフィールド	AdTarget のフィールド
コンテンツ・カテゴリ - 全体	参照コンテンツ・カテゴリ
コンテンツ・カテゴリ - ボトム	いいえ
コンテンツ・カテゴリ - トップ	いいえ
参照コンテンツ・カテゴリ - 全体	参照コンテンツ・カテゴリ
参照コンテンツ・カテゴリ - ボトム	いいえ
参照コンテンツ・カテゴリ - トップ	いいえ
エレメント・カテゴリ	表示エレメント・カテゴリ数
エレメント名	表示エレメント数
表示エレメント・カテゴリ	表示エレメント・カテゴリ数
表示エレメント	表示エレメント数
開始イベント	開始イベント数
完了イベント	完了イベント数
イベント・カテゴリ	[アクションの種類を明確化]
開始イベント・カテゴリ	開始イベント・カテゴリ数
完了イベント・カテゴリ	完了イベント・カテゴリ数
イベント名	[アクションの種類を明確化]
サイト内検索用語	サイト内検索用語
サイト内検索用語	サイト内検索用語
ページ	参照ページ数
参照ページ	参照ページ数
ページ参照元 URL	いいえ
ページ URL	参照 URL
参照 URL	参照 URL
リアル・エステート - 完全	いいえ
リアル・エステート - リンク	いいえ
リアル・エステート - ページ	いいえ
リアル・エステート - ページ領域	いいえ
リアル・エステート - バージョン	いいえ
サイト・プロモーション - 完全	いいえ
サイト・プロモーション - リンク	いいえ
サイト・プロモーション - ページ	いいえ
サイト・プロモーション - プロモーション	いいえ
サイト・プロモーション - プロモーションの種類	いいえ
エントリー・ページ	いいえ
ページ属性	はい

Digital Analytics Explore のフィールド	AdTarget のフィールド
イベント属性	はい
エレメント属性	はい
<b>地域</b>	
国	いいえ
都道府県	いいえ
市区町村	いいえ
DMA	いいえ
第 2 レベルのドメイン	いいえ
<b>テクニカル・プロパティ</b>	
ブラウザの種類	いいえ
画面の色	はい
接続速度	いいえ
接続の種類	いいえ
JavaScript バージョン	はい
言語	いいえ
モバイル・デバイス	いいえ
モバイル・ネットワーク	いいえ
オペレーティング・システム	いいえ
画面解像度	はい
タイム・ゾーン	はい

## AdTarget のよくある質問

このトピックでは、AdTarget に関するよくある質問と答えを記載します。

### Q: AdTarget を実装するにはどのような追加タグが必要ですか？

**A:** AdTarget を使用するために、Digital Analytics から、またはお客様が提携している AdTarget ネットワーク・パートナーから、追加サイト・タグの提供を受ける必要はありません。

### Q: Digital Analytics タグ・ライブラリー更新は必須ですか？

**A:** はい。Digital Analytics タグ・ライブラリー (eluminat.js) の更新済みバージョンは必須です。また、構成によっては、Digital Analytics タグ・ライブラリー (cmdatatagutils.js) への更新も必須である場合があります。

### Q: Digital Analytics と統合していないネットワークにデータをエクスポートできますか？

**A:** AdTarget を使用してシンジケートされたデータを AdTarget ネットワーク・パートナーに転送するには、Digital Analytics のお客様のサイト・タグからデータを受信するための必要条件である Digital Analytics API との統合をそのパートナーが実装していなければなりません。ただし、Digital Analytics のお客様は、IBM Digital Analytics Export を使用して、きめ細かくセグメント化された訪問者データを非 AdTarget パートナーに配布できます。AdTarget アプリケーションのために Digital Analytics と統合したいサード・パーティー・ネットワークがある場合は、Digital Analytics アカウント担当者までお知らせください。

**Q: シンジケートされたデータは、そのクライアントのみが排他的に使用できるように保持されますか? 関連する CPC、CPM、または CPE 料金が課金されますか?**

**A:** シンジケーション後のコストおよび使用に関する考慮事項は、広告主とネットワークの間で解決する必要があります。Digital Analytics の役割は、単に訪問者アクティビティ・データを収集し、セグメント化し、シンジケートすることです。お客様が提携する AdTarget パートナーとの間で契約が締結されていることを確認してください。

**Q: 同時に使用可能にできるパートナーの数はいくつですか?**

**A:** お客様は、最大 3 つの AdTarget ネットワーク・パートナーとの間でデータ・シンジケーションを同時にアクティブにすることができます。

**Q: データはどれくらいの頻度で AdTarget ネットワーク・パートナーにシンジケートできますか?**

**A:** データは、AdTarget ネットワーク・パートナーにリアルタイムで転送されます。訪問者がお客様のサイトと対話しているときに、AdTarget は、訪問者の行動を事前定義されたセグメントと突き合わせます。一致するセグメントが見つかったら、AdTarget は、指定された AdTarget ネットワーク・パートナーにデータをシンジケートします。

**Q: AdTarget で定義できるセグメントの数はいくつですか?**

**A:** 現在、AdTarget 内でユーザーが定義できるセグメントの総数の制限はありません。ただし、すべてのアクティブな AdTarget ネットワーク・パートナー全体で、アクティブなセグメントの総数は 30 個に制限されます。

**Q: Digital Analytics Explore または Digital Analytics で作成されたセグメントを AdTarget で活用できますか?**

**A:** AdTarget で定義されたセグメントは、AdTarget 内でのみ使用可能であり、Digital Analytics Explore および Digital Analytics 内で直接適用することはできません。ただし、AdTarget で使用されるセグメンテーション・ロジックは、解析に使用するために Digital Analytics Explore で複製できます。

**Q: Digital Analytics システム内でパートナー・シンジケーションをアクティブまたは非アクティブにするのにかかる時間はどれくらいですか?**

**A:** AdTarget UI から発行されたアクティベーションおよび非アクティベーションの要求は、処理が完了するまでに最大 10 分かかることがあります。

**Q: アクティブなシンジケーションを変更できますか? できる場合、頻度はどれくらいですか?**

**A:** はい。お客様は、既にアクティブであるパートナー・シンジケーションの更新または変更を選択できます。構成への変更は即時に有効になりますが、処理が完了するまでに最大 10 分の時間がかかることがあります。

**Q: AdTarget で臨時レポートを構成できますか?**

**A:** いいえ。AdTarget は、パートナーごとに有効に設定されている広告キャンペーン別の標準サマリー・レポートを提供します。詳細な帰因解析のために、Digital Analytics は以下の機能を提供します。

- Digital Analytics Explore の IBM Digital Analytics Impression Attribution 解析 (別料金)
- 表示広告クリックスルー・パフォーマンスおよび帰因解析

この機能は、Digital Analytics のマーケティング・プログラム・レポートの標準サービスとして提供されます。

**Q: Impression Attribution は、AdTarget を使用するために必須ですか?**

**A:** いいえ。AdTarget は、広告キャンペーンのパフォーマンスを分析するためのサマリー・レポートを提供します。Impression Attribution は必須ではなく、お客様の AdTarget ライセンスにバンドルされたサービスでもありません。

**Q: Impression Attribution のライセンス交付を受けたクライアントの場合、AdTarget レポート・インターフェースでインプレッション指標を使用できますか?**

**A:** いいえ。Impression Attribution は AdTarget を使用するために必須ではないため、Impression Attribution 指標は、AdTarget で提供される事前定義レポートに含まれません。Digital Analytics では、将来のリリースで Impression Attribution 標準レポートを AdTarget のネイティブ機能として提供することを検討しています。

**Q: 更新済み Digital Analytics タグ・ライブラリー・ファイルを実装した後で、Digital Analytics が提供している空の rules.js ファイルがあることを、当社の IT グループが発見しました。このファイルの目的および空である理由は何ですか?**

**A:** rules.js ファイルには、お客様の組織が AdTarget 内で構成し、パートナーとのシンジケーションのために承認した特定のタイプのデータ・トランザクションおよびセグメント・イベントに関連する情

報が格納されます。パートナーとのデータ・シンジケーション関係を実際に指定または構成するまで、rules.js ファイルは空です。したがって、AdTarget タグ・ライブラリーを実装したが、AdTarget パートナーとのシンジケーションをまだ1つもセットアップしていない場合、rules.js ファイルは空です。

**Q: AdTarget のレポートで週次または月次のレポート・ロールアップを表示できますか?**

**A:** 現在、AdTarget レポートが提供するのはいくつかのレベルの細分性のみですが、データをトレンド分析するオプションはあります。

**Q: すべての AdTarget セグメント・ロジックが「訪問内」アクティビティである場合、Digital Analytics は、AdTarget で提供される標準セグメントに対して訪問者が「新規」であるか「リピーター」であるかをどのように識別しますか?**

**A:** Digital Analytics は、訪問時に訪問者が Digital Analytics Cookie を持たず、その後で Cookie の設定を要求した場合に、「初回訪問フラグ」を設定します。したがって、現在 Digital Analytics Cookie を持たない参照者に関連付けられた訪問の場合、それは「新規訪問者」による訪問であると識別されます。一方、訪問者が Digital Analytics Cookie を持つ場合、それは「リピーター訪問者」として識別されます。

**Q: 当社の AdTarget パートナーが、当社の組織のデータ・シンジケーション要求を受け入れたが、トラッキング・イベントが表示されないと述べています。何が問題であると考えられますか?**

**A:** 最初に、パートナーがテスト・モードでないかどうかを確認してください。パートナーがテスト・モードである場合、データ・シンジケーション・イベントは、テスト Cookie が設定されている場合のみ発生します。お客様とパートナーのプロダクション・レベル・データ・シンジケーションの準備が完了している場合は、AdTarget の「管理」タブからパートナー・シンジケーションをプロモートしてください。

**Q: パートナーがシンジケーションを (アクティブ・テスト・モードまたはアクティブ・モードから) 使用不可に設定した場合、クライアントとパートナーのシンジケーションは完全に使用不可になりますか?**

**A:** はい。パートナーがクライアントとのシンジケーションを使用不可に設定した場合、データはクライアントの Web サイトからパートナーに流れなくなります。パートナーによって使用不可に設定されたクライアントは、パートナーの保留クライアント・リストに引き続き表示されます。クライアントの側から見ると、AdTarget UI には構成済みのパートナー・アイコンが引き続き表示されますが、アイコンの色は変更され、その上にマウスを移動すると使用不可状態であることが表示されます。

**Q: 複数の AdTarget パートナーが構成されていてアクティブである場合、Digital Analytics タグはすべてのデータ・シンジケーション呼び出しを並行して実行しますか、それとも順次的に実行しますか?**

**A:** Digital Analytics Coremetrics は、クライアント javascript ファイルを並行してダウンロードします (例えば、Internet Explorer は一度に 2 個、Firefox は一度に 4 個ダウンロードします)。しかし、JavaScript は並行実行をサポートしないため、シンジケーション呼び出しは順次的に実行されます。

**Q: AdTarget パートナーが Cookie またはデータ・シンジケーション・イベントにตอบสนองしない場合、Digital Analytics タグ・ライブラリーはどのように動作しますか? 訪問者の訪問内で待ち時間が発生しますか?**

**A:** これは、ページがどのようにタグ付けされているかによって異なります。ほとんどのお客様は、Digital Analytics タグをページの末尾に組み込んでいます。この場合、Digital Analytics スクリプトがロードされる前に、ページが (通常は) 完全にロードされます。Keynote などの一部のモニター・ツールは、ページがロードされ、ロード時に開始されたすべてのスクリプトの実行が終了するまでの時間を測定します。パートナーでの処理が遅い場合、この数値に影響することがあります。タグ付けがページの先頭にある場合、パートナー要求処理が遅いと、ページ・ロードが遅延する可能性があります。Digital Analytics では、ページ・ロードの待ち時間が許容可能な範囲であることを確認するために、パートナーとアクティブな (完全プロダクション) シンジケーション・モードで業務を開始する前に active\_test モードで AdTarget パートナー要求をモニターすることを強くお勧めします。

**Q: AdTarget パートナーがデータ・シンジケーション・イベントをキャッチできない場合はどうなりますか? Digital Analytics はシンジケーション・イベントを再試行しますか?**

**A:** Digital Analytics は、最初の試行が失敗した場合に、データ・シンジケーション・イベントの再送信を試行しません。

## その他の連絡先情報

製品改良のための推奨情報については、IBM (cm\_feedback@us.ibm.com) にご連絡ください。

製品に関して支援が必要な場合は、IBM Client Support Center (<https://support.ibmcloud.com>) にご連絡ください。

また、お客様の地域の IBM 営業所にご連絡いただくこともできます。

米国	
IBM 1001 E Hillsdale Boulevard Foster City, CA 94402 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673	IBM Austin 11501 Burnet Road Building 905, Floor 2 Austin, TX 78758-3400 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673
IBM Dallas 750 W John Carpenter Freeway Irving, TX 75039 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673	
ヨーロッパ	
IBM United Kingdom Limited 3 Furzeground Way Stockley Park Uxbridge Middlesex UB11 1EZ U.K. 電話: 020 8867 8003	IBM GmbH Beim Strohhause 17 D-20097 Hamburg Germany 電話: 0800-180-2597
IBM France 17 Avenue de l'Europe 92275 Bois Colombes Cedex France 電話: 0800 91 4912	
アジア太平洋	
IBM Hong Kong Limited Silvercord Tower 2 Room 907 30, Canton Road Tsim Sha Tsui Kowloon Hong Kong SAR, China 電話: +852 8201 0823 Fax: +852 8201 0832	IBM Australia and New Zealand 60 Southgate Ave Southgate VIC 3006 AUSTRALIA (オーストラリア) 1800 69 CORE (ニュージーランド) 0800 69 CORE

**IBM にお客様のご意見をお寄せください。**

ご意見は以下の住所にお送りいただくことができます。

IBM Bay Area Lab  
1001 E Hillsdale Boulevard

Foster City, California 94404  
USA

以下のいずれかの方法で電子的にご意見をお送りいただくこともできます。

フリー・ダイヤル  
1+866-493-2673

サポート・センター:  
<https://support.ibmcloud.com>

World Wide Web:  
[www.ibm.com/marketing-solutions/](http://www.ibm.com/marketing-solutions/)

ご意見またはコメントには以下の情報を必ず記載してください。

- 本書のタイトル
- コメントに関連するページ番号またはトピック

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

## サポート

---

### サポート・センター

サポート・サイトは、<https://support.ibmcloud.com>、また、アプリケーション・メニュー・バーの「サポート・リンク」をクリックしてアクセスすることもできます。

サポート・センター・サイトには以下が含まれています。

- **検索可能な知識ベース:** 質問に対する回答を得たり、基本的な資料 (実装ガイド、指標用語集、ユーザー・ガイド、リリース・ノートなど) に簡単にアクセスしたりできます。
- **研修ツール:** Web ベースのトレーニングやアーカイブ済みのオンライン・セミナーなど。
- **マーケティング情報:** ケース・スタディー、ホワイト・ペーパー、および今後のイベント (クライアント・サミットなど) が含まれています。
- **通知:** サポートからの通知です。
- **問題のトラッキング:** チケットの作成からその問題の解決までを追跡し、お客様のお問い合わせ状況を詳細に把握できるようにします。
- **フィードバック:** サポート・サイトの改善に関するお客様からのご提案を受け付けています (アプリケーションに関するフィードバックを [cm\\_feedback@us.ibm.com](mailto:cm_feedback@us.ibm.com) までお寄せください)。
- **チャット:** IBM のベスト・プラクティス担当者がすぐに対応します。

## 特記事項

---

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス 渉外

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。** IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing IBM Corporation  
North Castle Drive, MD-NC119  
Armonk, NY 10504-1785 US*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェース

に準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. 2017 . All rights reserved.

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

## 製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

### 適用される条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

### 個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

### 商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

### 権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

## プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けません。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』（<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>）の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

